

【研究紹介】

世界初の陸上養殖に成功した「あおさのり」

藻類成長因子を用いた海藻栽培技術イノベーション

地球温暖化により、様々な海藻の生産量が減少しています。

海藻が育つ仕組みは分かっていましたが、本学山本教授らのグループは、海藻に着生している、バクテリアに注目し、バクテリアが生産する物質(成長因子サルーキン)がアオサノリ(ヒトエグサ)の成長に必要であることを発見しました。

さらに、成長因子サルーキンを人工的に合成し、水槽内で海藻(アオサノリ)の胞子に与えることにより、これまで不可能と考えられてきたバクテリアに依存しない海藻の陸上養殖に初めて成功しました。

